

fmi

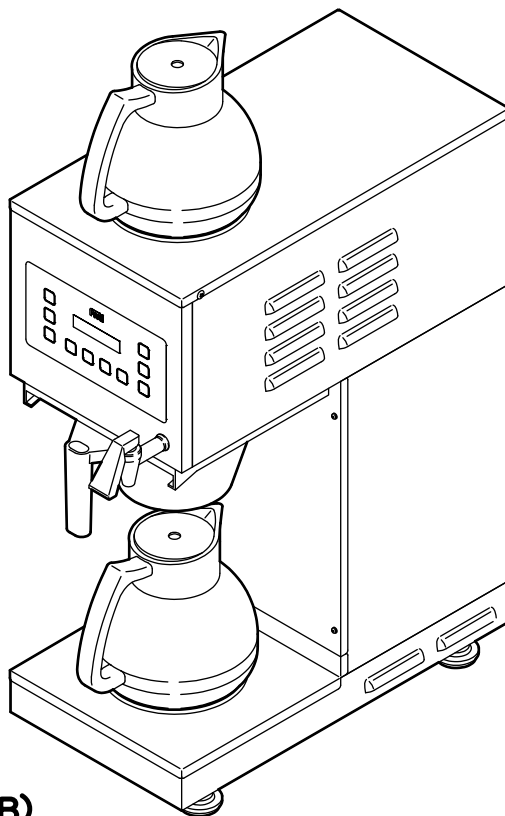
コーヒーマシン「カフェトロンブルーワー」

# CAFÉ-TRÔNE

## —取扱説明書—

お客様用

型式：CT-BR / CT-BR(B)  
(業務用)



CT-BR / CT-BR(B)

- このたびは、当社のコーヒーマシン「カフェトロンブルーワー」をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになれるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 製品と本内容とは予告なく変更されることがあります。ご了承くださいませよう願いたします。

# 目次

<b>本機をお使いになる前に</b>	<b>1</b>	<b>第4章</b>	<b>お手入れと点検</b>	<b>20・21</b>
安全上のご注意	1			
本機の使用に	2~7			
各部の名称とはたらき		<b>第5章</b>	<b>プログラムの設定について</b>	<b>22</b>
本体	8	プログラムの概要		
操作スイッチパネル部	9	プログラムモードに入るには	22	
		プログラムのグループ	23	
<b>第1章</b>		各プログラムグループの設定のしかた		
<b>使用前の準備</b>	<b>10</b>	時計グループ	24	
本体の主電源スイッチ を入れる前に	10	自動立ち上げグループ	25~29	
本機の立ち上げかた	10~12	ドリップ抽出グループ	30~32	
MEMO	13	後だれ時間グループ	33・34	
		温度グループ	35~37	
<b>第2章</b>		その他、機能グループ	38	
<b>抽出のしかた</b>	<b>14</b>	MEMO	39	
コーヒーの抽出のしかた	14・15	<b>第6章</b>	<b>据付けについて</b>	<b>40</b>
コーヒーの保温のしかた	16	据付工事	40・41	
熱湯の出しかた	17	据付け	42・43	
電源の切りかた	17	MEMO	44	
		抽出設定のヒント・推奨レシピ	45	
<b>第3章</b>		<b>故障の診断と手当</b>	<b>46</b>	
<b>洗浄・清掃のしかた</b>	<b>18</b>	<b>エラーメッセージ</b>	<b>47</b>	
毎日おこなう洗浄と清掃		<b>仕様</b>	<b>48</b>	
ファンネルの洗浄	18	<b>保証書(別添付)について/消耗部品 /補修用性能部品の保有期間</b>	<b>49</b>	
デカンタの洗浄	18			
週に1~2回おこなう洗浄と清掃				
本体外装の清掃	18			
ドリップシャワープレートの洗浄	19			

# 本機をお使いになる前に



本機をお使いになる前に

## 安全上のご注意

- 本製品は、IEC規格過電圧カテゴリⅡの機器です。
- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 安全に責任を負う人の監視または、指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で機器を用いることを意図していません。必ず十分な使用経験と知識をお持ちの方がそばに付き添い、正しい知識や指示でマシンを安全に使用し、発生するリスクを理解した状態でお使いください。




表示と意味は次のようになっています。

### 【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 【図記号の例】

 感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

# 本機の使用にあたって必ず守ってください

## 警告

- 漏電遮断器または、サーキットブレーカーが「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを「ON(入)」にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

- 機械内部の電気装置や配線に触らないこと

電気装置や配線に触れると、やけどや感電の恐れがあります。



接触禁止

- 異常時は、本体の主電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜く(電源プラグを使用の場合)か、本機専用電源を「OFF(切)」にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。



専用電源切

- ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること

本体背面の主電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたり(電源プラグを使用の場合)すると、引火爆発し危険です。



ガス栓閉

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理はおこなわないこと

やけどや感電をしたり、修理に不備があると水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



分解禁止

- 改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

- 移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付け不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



専門業者

- 廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。



専門業者

## 本機の使用にあたって必ず守ってください

本機をお使いになる前に

# 警告

- 濡れた手で電源プラグなど(電源プラグを使用の場合)の電気部品に触れたり、本体の電源スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



濡れ手禁止

- 操作スイッチ(シートタイプ)は、先のとがったもので押さないこと

破損した場合、漏電、感電の原因になります。



禁止

- 約130gを超えるコーヒー粉量で抽出をおこなわないこと

コーヒー粉量が多すぎると、コーヒー抽出の際にファンネル上端からコーヒーが溢れ出て、やけどの原因になります。機械の内部にコーヒーが入り込みますと漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

- コーヒー抽出の際に、ファンネル上端からコーヒーが溢れ出ないように給湯の設定をすること

コーヒー抽出の際にファンネル上端からコーヒーが溢れ出ると、やけど、漏電、ショート、感電の原因になります。



給湯設定

- 電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に抜いて確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

- 電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内でコードに傷がつき、火災、感電の原因になります。



禁止

- 本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止

- 据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



専門業者

- アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



アース工事

## 警告

- 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



電気工事

- 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



屋外禁止

- 湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

- 電源コードや電源プラグ(電源プラグを使用の場合)が破損している場合は使用しないこと  
専用電源を「OFF(切)」にして、お買上げ店に連絡してください。

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

- 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

## 注意

- 本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下するとケガをしたり、水がこぼれて機械内部に入った場合、電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと

発火の原因になります。



可燃物禁止

本機の使用にあたって必ず守ってください

本機をお使いになる前に

# ⚠ 注 意

- 製品にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや製品転倒によるケガの原因になります。



禁止

- 漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



動作確認

- 本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため本体の主電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグを抜く(電源プラグを使用の場合)か、本機専用電源を「OFF(切)」にすること

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



専用電源切

- 断水の場合は、本体の主電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグを抜く(電源プラグを使用の場合)か、本機専用電源を「OFF(切)」にして、水道栓を閉めること

開けておくと通水時、不衛生な水が機械に給水され、健康障害の原因になります。



断水時閉弁

- ファンネルの中には、ペーパーフィルターやコーヒー粉以外のものは入れないこと

本機は、コーヒー抽出を目的として作られています。それ以外の用途には使用しないでください。



禁止

- コーヒーや熱湯の抽出直後に、シャワープレートを外さないこと

シャワープレート及び、内部に残っている熱湯が落ちてきて、やけどの原因になります。



禁止

- 使用直後は、保温プレートが熱くなっているため冷めるまで待つこと

保温プレートが熱い状態で触れますと、やけどの原因になります。



冷めるまで待つ

- 使用直後は、熱湯栓の金属部分に直接触れないこと

直接触れますと、やけどの原因になります。



接触禁止

# 注 意

- お手入れの際は、誤って熱湯栓レバーを持ち上げないように十分に注意すること

熱湯栓から熱湯がでて、手などにかかると、やけどの原因になります。



注意する

- 一日の営業終了後は、必ず接液部の部品を洗浄すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



洗浄

- 洗剤を使った後は、必ずすすぎ洗いをすること

すすぎ洗いをおこなわないと洗剤成分が残り、健康障害の原因になります。



洗い流す

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりすると水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になります。



水平据付

- 水をこぼしてもよい所に据え付けること

使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防止処置をしてください。



防水処置

- 凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

凍結により給水管が破裂した場合、周囲を濡らしたり、漏電、ショート、感電の原因になります。据付けされる場合は、お買上げ店にご相談ください。



相談

- 給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること

飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。



飲料水

- 水道圧力は、流れている状態で0.1MPa以上で使用すること

水圧が低いと、機械は正常に動作しません。0.1MPa未満の場合は、お買上げ店にご相談ください。



適正水圧

- コーヒーを抽出しているときは、上下ウォーマーおよび、周辺のステンレス部分は高温になっているため触らないこと

やけどする恐れがあります。



接触禁止



本機の使用にあたって必ず守ってください

本機をお使いになる前に

# ⚠ 注 意

- デカンタは、落としたり、ぶついたりしないこと

デカンタが破損すると、ケガの原因になります。



禁止

- 断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になります。



水入れ替え

- 洗剤を使った後は、必ずすすぎ洗いをすること

すすぎ洗いをおこなわないと洗剤成分が残り、健康障害の原因になります。



洗い流す

- コーヒー取出しの際は、コーヒーが手にかからないよう充分に注意すること

コーヒーがかかると、やけどの原因になります。



注意する

- 熱湯を取り出すときは、熱湯が手などにかからないよう充分に注意すること

熱湯がかかると、やけどの原因になります。



注意する

- 抽出量変更の際は、必ずファンネルとデカンタをセットしてから操作すること

シャワーヘッドから出た熱湯が手などにかかると、やけどの原因になります。



セットする

- お手入れの際は、ファンネルに残ったコーヒーやシャワーヘッド内に残った熱湯などにかかると、やけどの原因になります。

熱湯がかかると、やけどの原因になります。



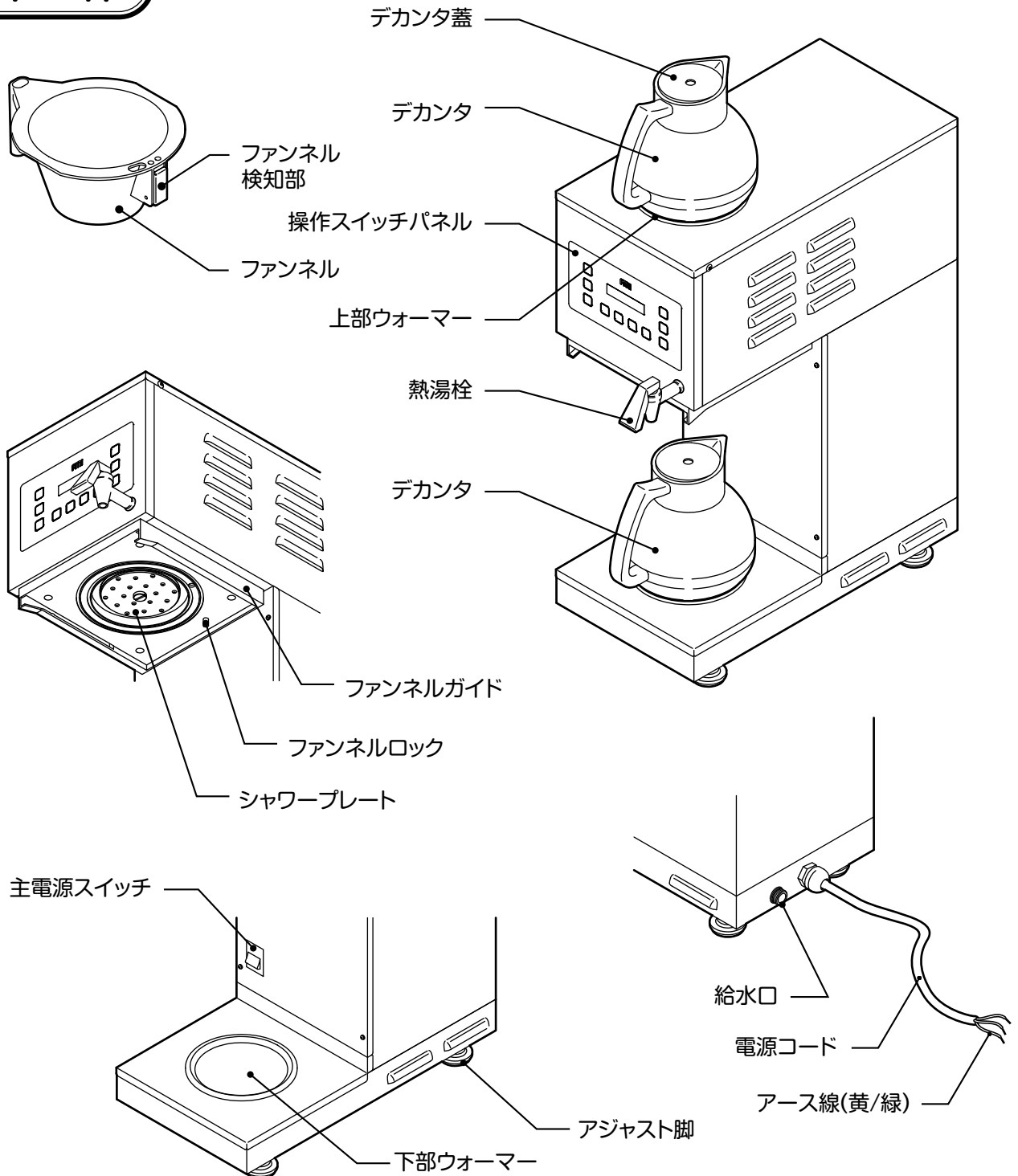
注意する



# 各部の名称とはたらき

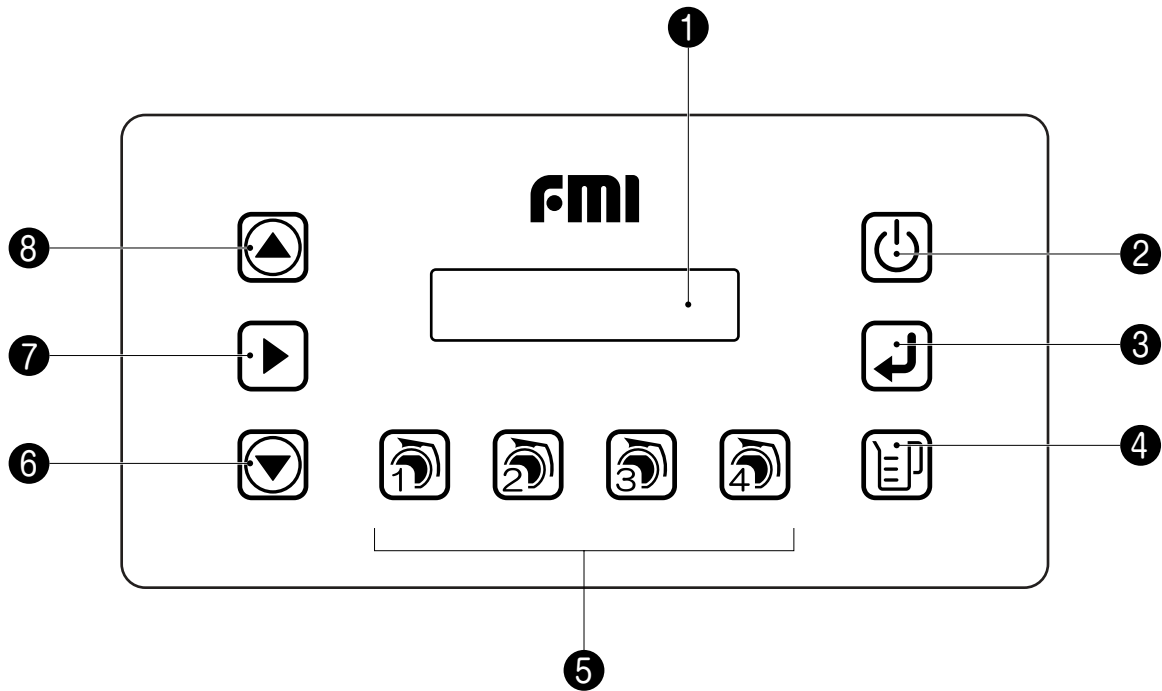
●本機はコーヒーの抽出と、保温をおこなう機械です。

## 本体



## 操作スイッチパネル部

本機をお使いになる前に



- ① ディスプレイ …………… 機械の状態(抽出中、待機中、給水中)や温水タンクの温度、抽出の残り時間などを表示します。
- ② ON/OFFスイッチ …… 本機の電源をON/OFFします。
- ③ ENTERスイッチ …… プログラム設定の確定時に使用します。
- ④ プログラムスイッチ …… 抽出量の計測、設定をおこないます。
- ⑤ 抽出スイッチ …………… コーヒーの抽出をおこないます。
- ⑥ 下部ウォーマー …………… 下部のヒーターに通電します。  
プログラム設定時に使用します。
- ⑦ スクロールスイッチ …… プログラム設定時に使用します。  
※ 本機CT-BR / CT-BR(B)は、通常運用時には使用しません。
- ⑧ 上部ウォーマー …………… 上部(手前)のヒーターに通電します。  
プログラム設定時に使用します。

# 1

## 使用前の準備

この章では本機を使用する前の準備について説明します。

### 本体の主電源スイッチを入れる前に

- 本体の主電源スイッチを入れる前に、以下の作業をおこなってください。
- 「自動立ち上げタイマー」を使用している場合は、閉店時に本機専用電源および、本体の主電源スイッチを切らないでください。また、水道栓及び、浄水器の栓を閉じないでください。

#### 1 デカンタとファンネルを洗淨します。

- 「第3章 洗淨・清掃のしかた」(P.18)を参照してください。

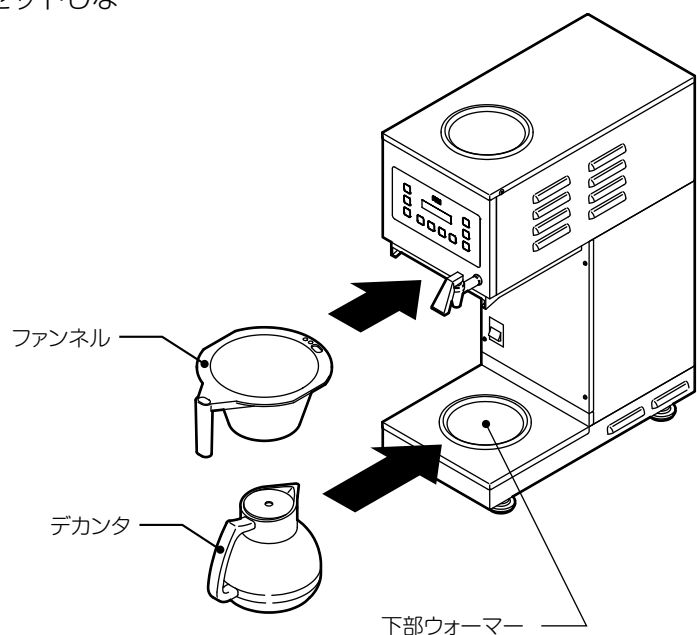
#### 2 専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を入れます。

#### 3 水道栓と浄水器の栓が開いていることを確認します。

## 本機の立ち上げかた

#### 1 空のファンネルとデカンタをセットしてください

- ペーパーフィルター、コーヒー粉はセットしないでください。



## 本体のメインスイッチを入れる前に／本機の立ち上げかた

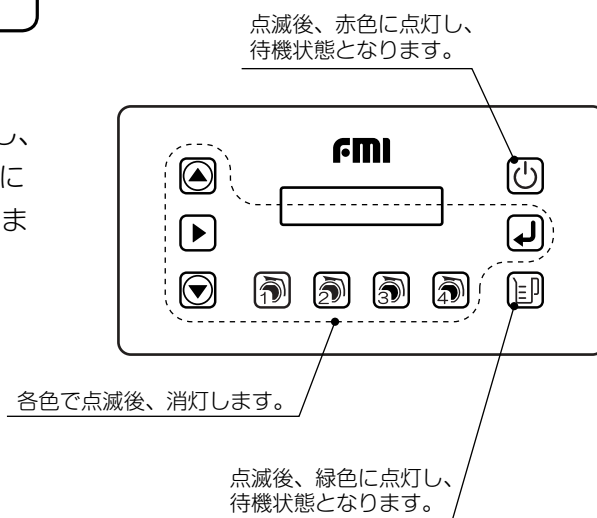
### 2 本体の「主電源スイッチ」をONにします。

① 「主電源スイッチ」をONにしてください。

#### メモ

主電源を1週間以上切ったままにすると、日付、曜日、時刻が工場出荷時の設定に戻り、不規則な文字を表示します。(異常ではありません)  
このときは、「日付と時刻の設定」(P.24)を参照して現在の日付と時刻に設定しなおしてください。

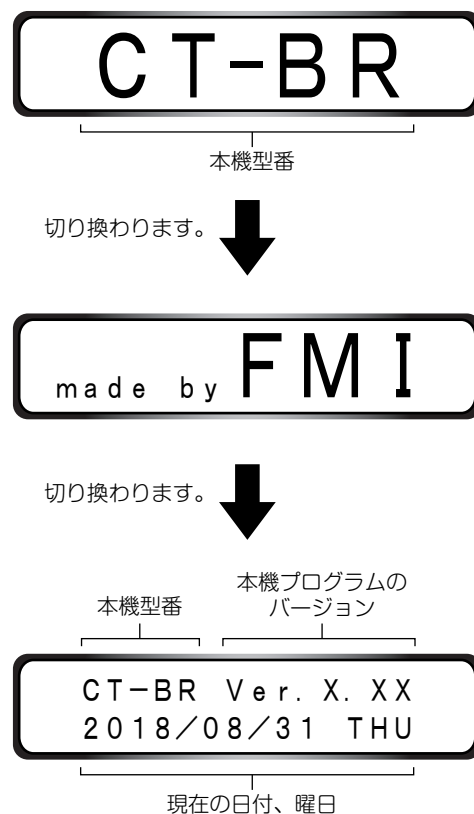
- 操作スイッチパネルの全スイッチが3回点滅し、ピーと音になり、ON/OFFスイッチが赤色に点灯し、プログラムスイッチは緑色に点灯します。その他のスイッチは消灯します。



- ディスプレイは右の様に表示され、操作スイッチパネルの操作が可能になります。

ディスプレイの表示は、切り換わりますが、全て待機状態です。

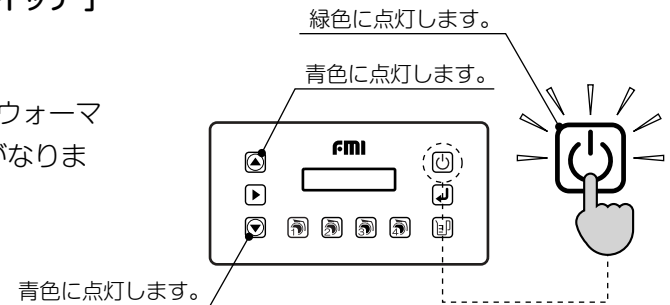
最終の表示は、本機型番、プログラムバージョン、日付、曜日となります。



### 3 「ON/OFFスイッチ」をONにします。

① 操作スイッチパネルの「ON/OFFスイッチ」をONにしてください。

- 「ON/OFFスイッチ」が緑色に「上下ウォーマースイッチ」が青に点灯し、ピッと音になります。

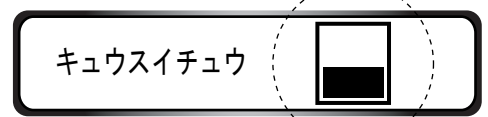


- ディスプレイは右の様に表示され、温水タンク内への給水が始まります。

ディスプレイ内の右側の絵は温水タンクへの給水状態をあらわします。

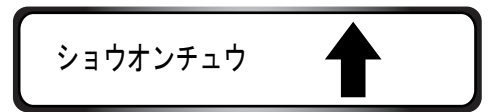
- … 給水開始をあらわしています。
- … 給水途中をあらわしています。
- … 満水状態をあらわしています。

- 温水タンクへの給水が一定量たまると昇温が始まり、ディスプレイに右の様に表示されます。
- 温水タンクへの給水および、昇温が完了するとディスプレイに右の様に表示され、スイッチは右下の様に点灯し、抽出待機状態となります。



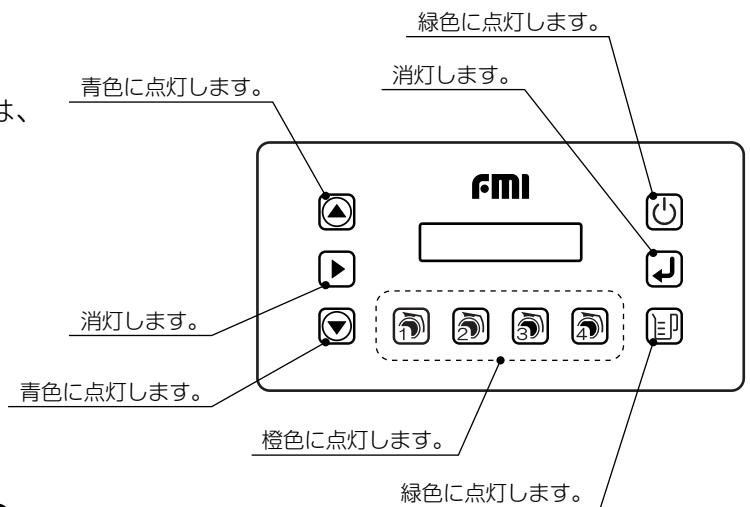
給水状態により、切り換わります。

給水が完了すると表示が切り換わります。



・「給水」と「昇温」が完了するには、おおよそ11分かかります。  
(室温水タンクが空の場合)

・「昇温」のみが完了するには、おおよそ8分かかります。  
(温水タンクが満水の場合)



### 4 お湯をだしてください。

① その日のコーヒー抽出する前に一度、操作スイッチパネルの「抽出スイッチ」を押して、お湯をください。

- 安定したコーヒー抽出を行うためです。  
ファンネルのみセットし、フィルター及び、コーヒー粉はセットしません。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for taking notes, starting from the top right of the 'MEMO' label and extending across the page.

① 使用前の準備



# 2

## 抽出のしかた

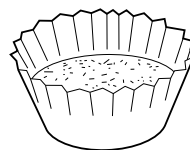
ここではコーヒーの抽出および、保温のしかたについて説明します。また、熱湯の出しかたについて説明しています。

### コーヒーの抽出のしかた

#### 1 コーヒー粉をセットします。

- ① ペーパーフィルター(1枚)に抽出量に応じた量のコーヒー粉を入れてください。
- コーヒー粉のめやす

抽出量	コーヒー粉
1L	約 80g
2L	約 100g

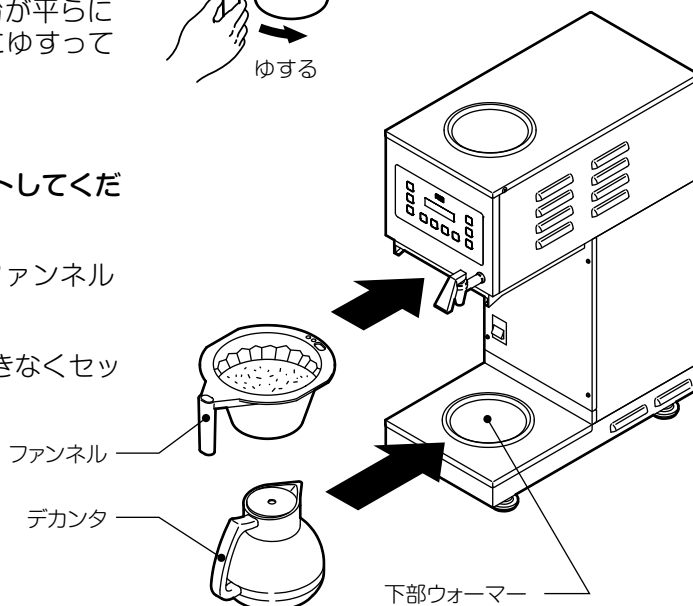


#### メ モ

- コーヒー粉の量は豆のメッシュ、種類、好みに応じて増減してください。豆のメッシュは、中挽きが適当です。(普通のドリップ用程度)
- 1回の抽出で使用できるコーヒー粉の量は約130gまでです。  
130g以上で抽出をおこなうとペーパーフィルター上端からコーヒーが溢れることがあります。
- ペーパーフィルターは必ず1枚でご使用ください。誤って2枚重なったまま使用しますと、ファンネル上端よりコーヒーが溢れ、やけどの恐れや機械内部に浸入した場合、漏電の原因になることがあります。

コーヒー粉に合わせた抽出量は、抽出のヒント及び、推奨レシピ(P.45)を参考にしてください。

- ② コーヒー粉を入れたペーパーフィルターをファンネルにセットしてください。
- ペーパーフィルター内のコーヒー粉が平らになるようにファンネルを軽く左右にゆすってください。
- ③ ファンネルとデカンタを本体にセットしてください。
- ファンネル検知部が当たるまで、ファンネルガイドにセットしてください。
- デカンタを下部ウォーマーにガタつきなくセットしてください。





# コーヒーの抽出のしかた

## 2 抽出スイッチを押して、コーヒーを抽出してください。

- ① ディスプレイに右のような表示がされている場合は、抽出可能な待機状態です。事前に設定されたコーヒー粉の量に応じた抽出モード1~4を押して、抽出を開始してください。

- 選択した抽出スイッチが赤色に点灯し、ピッと音になり、抽出が開始されます。

- 抽出が開始されると、ディスプレイに右のように「抽出時間」、「抽出工程」とアニメーションが表示されます。

抽出工程については、下記のとおりです。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1…湯かけ1回目 | 2…むらし1回目 |
| 3…湯かけ2回目 | 4…むらし2回目 |
| 5…湯かけ3回目 | 6…むらし3回目 |
| 7…湯かけ4回目 | 8…後だれ    |

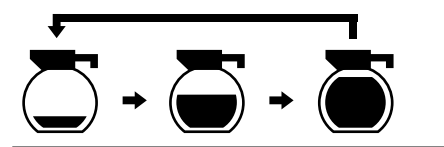
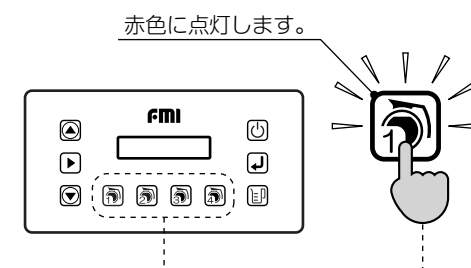
- 抽出スイッチを押して、右のような表示があらわれた場合は、ファンネルがセットされていません。ファンネルをファンネルガイド奥までセットし、抽出スイッチを押してください。

- 抽出が完了すると、ピッと音になり、ディスプレイに右のような表示があらわれ、抽出可能な待機状態となります。

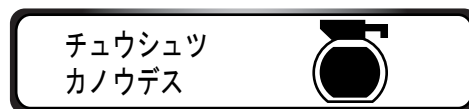
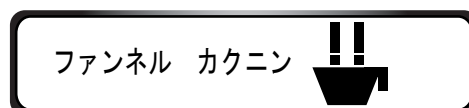
- ・ コーヒーの抽出が終了したら、すみやかにコーヒーカスをペーパーフィルターごと捨ててください。

- 抽出を途中で止める場合は、抽出スイッチを押してください。もう一度押すと、抽出工程が初めからになります。

- ・ デカンタ内のコーヒー量に注意してください。



抽出中は、表示が切り換わり続けます。



# コーヒーの保温のしかた

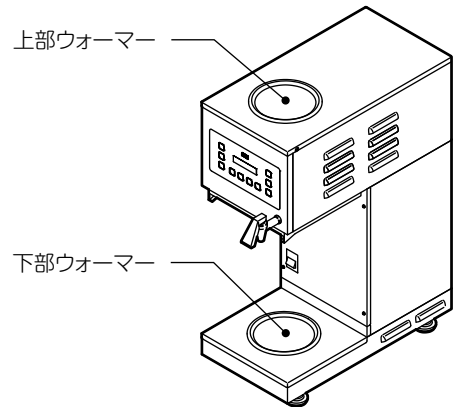
## 1 上下ウォーマーでコーヒーを保温します。

- ① 下部ウォーマーはコーヒーの抽出が完了すると自動で保温をおこないます。
- 下部ウォーマースイッチが赤色に点灯し、保温をおこないます。

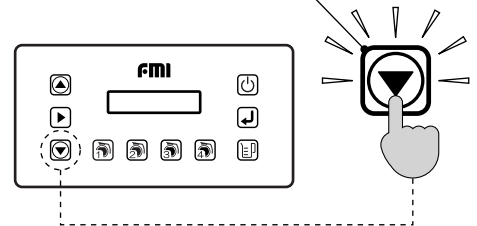
- ② 下部ウォーマースイッチを押すと、コーヒーの抽出をおこなわず、保温することができます。
- 下部ウォーマースイッチが赤色に点灯し、ピツと音がり、保温をおこないます。

- ③ 上部ウォーマースイッチを押すと、保温をおこないません。自動で保温をおこなうことはありません。
- 上部ウォーマースイッチが赤色に点灯し、保温をおこないます。

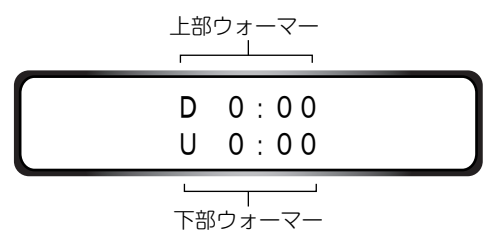
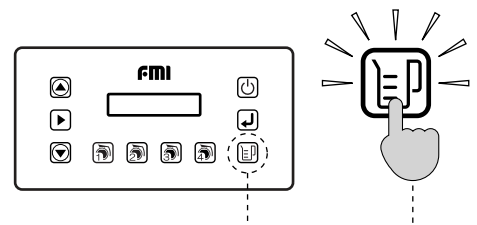
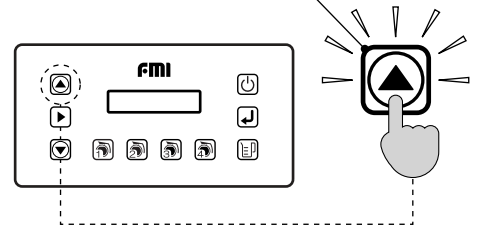
- ④ プログラムスイッチを押すと、ディスプレイに右下の様に表示され、経過時間を確認できます。
- もう一度押すと、抽出待機状態に戻ります。



赤色に点灯します。



赤色に点灯します。



## コーヒーの保温のしかた／熱湯の出しかた／電源の切りかた

### メモ

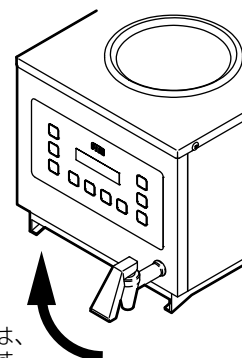
- 下部ウォーマーは、ドリップコーヒーの抽出が始まると保温経過時間のカウントが始まります。保温時間が設定したタイムリミットになると、抽出スイッチの点滅とブザーでお知らせします。(ウォーマーは通電し、加熱されたままです。)
- 全てのウォーマーの保温タイムリミットは、99分まで設定できます。「第5章 プログラムの設定について」(P.22)を参照してください。
- 下部ウォーマーの保温タイムリミットによる、スイッチの点滅及び、ブザー音は、次のコーヒーを抽出するか、再度スイッチを押すことでリセットされます。
- 上部ウォーマーの保温タイムリミットによる、スイッチの点滅及び、ブザー音は、再度スイッチを押すことでリセットされます。

## ② 抽出のしかた

### 熱湯の出しかた

#### 1 熱湯を取り出してください。

- ① 熱湯栓レバーを上を上げてください。
  - レバーを上げている間は、熱湯を取り出され続けます。
  - 熱湯栓を使用しすぎると湯温が下がります。
  - コーヒー抽出中は、使用しないでください。抽出温度が低下して、味に影響します。
  - 熱湯栓使用直後にコーヒー抽出をしないでください。抽出温度が低下して、味に影響します。



上にあげている間は、  
取り出され続けます。

### 電源の切りかた

#### 1 ご使用後は、ON/OFFスイッチを「OFF」にしてください。

#### 2 主電源スイッチを「OFF」にしてください。

#### 3 水道栓を閉めてください。

#### 4 洗浄と清掃をおこなってください。

- 「第3章 洗浄と清掃のしかた」(P.18)を参照してください。

# 3

## 洗浄・清掃のしかた

この章では本機の洗浄・清掃のしかたについて説明します。

### 毎日おこなう洗浄と清掃

#### ファンネルの洗浄

##### 1 ファンネル内のコーヒーカスを捨てます。

- コーヒーの抽出が終了したら、すみやかにコーヒーカスをペーパーフィルターごと捨ててください。

##### 2 ファンネルを洗浄します。

- ① ファンネルを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯で丁寧に洗ってください。
  - ② すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
  - ③ 乾いた布で水分を拭き取ってください。
- ※ ファンネルを食洗器で洗わないでください。ファンネルの劣化、破損の原因になります。

#### デカンタの洗浄

##### 1 デカンタを洗浄します。

- ① デカンタを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯で丁寧に洗ってください。
- ② すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
- ③ 乾いた布で水分を拭き取ってください。

### 週1～2回おこなう洗浄と清掃

#### 本体外装の清掃

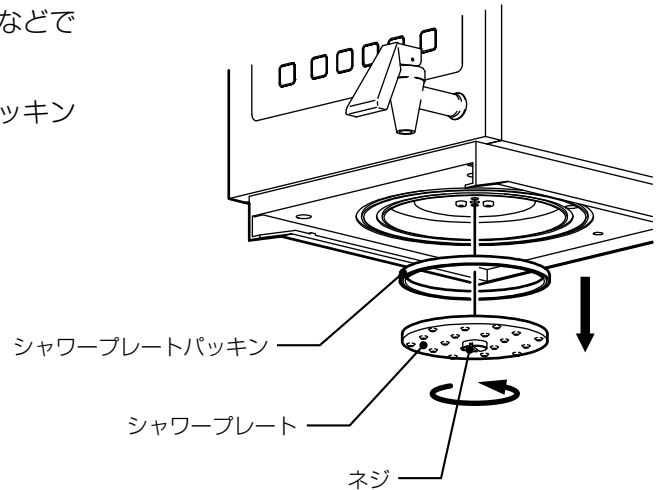
##### 1 本体外装の清掃をします。

- ① 本体外装を、お手持ちの食器用中性洗剤を使用し、柔らかい布で拭いてください。
- ② 洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

## シャワープレートの洗浄

### 1 シャワープレートを取り外します。

- ① シャワープレート中央にあるネジを硬貨などで反時計方向に回して外してください。
- ② シャワープレート、シャワープレートパッキンを外してください。



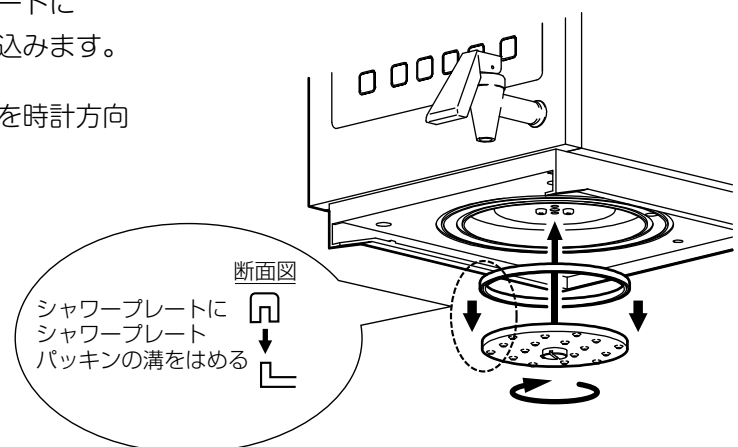
③ 洗浄・清掃のしかた

### 2 取り外した部品を洗浄します。

- ① シャワープレート、シャワープレートパッキンおよび、ネジをお手持ちの食器用中性洗剤を入れた水または、お湯でいねいに洗ってください。
  - ② お湯が出るシャワープレートの穴を楊枝などを使って、詰まっていないことを確認します。
  - ③ その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
  - ④ 乾いた布で水分を拭き取ってください。
- ※ 金たわし等の硬いものでは洗わないでください。シャワープレート、シャワープレートパッキンの劣化、破損の原因になります。また、抽出量が不安定になる可能性があります。

### 3 シャワープレートを取り付けます。

- ① 右図のようにして、シャワープレートにシャワープレートパッキンをはめ込みます。
- ② シャワープレート中央にあるネジを時計方向に回して、本体に取り付けます。



# 4





## お手入れと点検

この章では本機をお使いいただく上で、必要なお手入れと点検を一覧にして示しています。

### ⚠ 警告

- 本体に直接水をかけないこと  
漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。 

### ⚠ 注意

- 使用直後は、ウォーマーが熱くなっているため冷めるまでまつこと   
ウォーマーが熱い状態で触れますと、やけどの原因になります。
- 使用直後は、熱湯栓の金属部分に直接触れないこと   
直接触れますと、やけどの原因になります。
- お手入れの際は、ファンネルに残ったコーヒーやシャワープレート内に残った熱湯が手にかからないように十分に注意すること   
やけどの原因になります。
- デカンタは、落としたり、ぶついたりしないこと   
デカンタが破損すると、ケガの原因になります。

## 毎日のお手入れと点検

1.給水管の点検	<ul style="list-style-type: none"><li>● 給水管の接続部やバルブより水漏れや、配水管に詰まりがないか点検をおこなってください。 異常がある場合は、すぐにお買上げ店か専門業者に修理を依頼してください。</li></ul>
2.ファンネルの洗浄	<ul style="list-style-type: none"><li>● ドリップコーヒーを抽出した後は、その都度ファンネルを洗浄してください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」(P.18)を参照して、ファンネルの洗浄をおこなってください。</li></ul>
3.デカンタの洗浄	<ul style="list-style-type: none"><li>● 終業時に洗浄してください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」(P.18)を参照して、ファンネルの洗浄をおこなってください。</li></ul>

## 週に1～2回のお手入れ

1. ドリップシャワープレートの洗浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャワプレートは週1～2回、もしくは汚れが目立ったときに洗浄してください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」(P.18)を参照して、ファンネルの洗浄をおこなってください。</li> </ul>
2. 本体外装の清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャワプレートは週1～2回、もしくは汚れが目立ったときに洗浄してください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」(P.18)を参照して、ファンネルの洗浄をおこなってください。</li> </ul>

## 1ヶ月に1回の点検

漏電遮断器動作確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>漏電遮断器は、1ヶ月に1回動作確認をおこなってください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>漏電遮断器のテストボタンを指先などで押してください。</li> <li>「OFF(切)」に切り換わるか確認してください。切り換われば正常です。レバー「OFF(切)」に切り換わらない場合は、そのままの状態ですぐにお買い上げ店へご連絡ください。</li> <li>正常な場合は、「ON(入)」にしてください。</li> </ol> </li> </ul>
-----------	--

## 1年に1～2回の点検

1. 浄水器カートリッジ〈別売品〉の交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>半年から1年ごとに浄水器カートリッジ〈別売品〉を交換してください。 カートリッジの注文と交換のしかたは、お買い上げ店におたずねください。</li> </ul>
2. アース線の点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>アース線は、切れたり、接続部がゆるんだりしていないか点検してください。 異常がある場合は、電気工事店に修理を依頼してください。</li> </ul>
3. 電源プラグの点検 (電源プラグを使用の場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグやコードに異常な発熱や破損、重い物が乗ったり、挟み込まれたりしていないか点検してください。 異常のある場合は、すぐにお買い上げ店か専門業者に修理を依頼してください。</li> <li>電源プラグの刃と刃の取付面および、コンセントにほこりがついていないか点検してください。 ほこりが付いている場合は、清掃をしてください。</li> </ul>

# 5

## プログラムの設定について

この章では本機のプログラム内容と設定のしかたについて説明しています。

### プログラムの概要


#### プログラムモードに入るには

- プログラムの設定はプログラムモードに入っておこないます。

#### 通常の状態

主電源スイッチ：ON  
ON/OFFスイッチ：ON


「ON/OFFスイッチ」 をOFFにします。  
「主電源スイッチ」はONのままにしてください。

操作スイッチパネルの「プログラムスイッチ」 を押してください。

ディスプレイに右のような表示があらわれます。

SELECT PROGRAM  
トケイ

これでプログラムモードにはいりました。

- プログラムの設定を終了して、通常の状態に戻るには  スイッチを押します。  
(詳しくはP.23以降の「各プログラムグループの設定のしかた」を参照してください。)

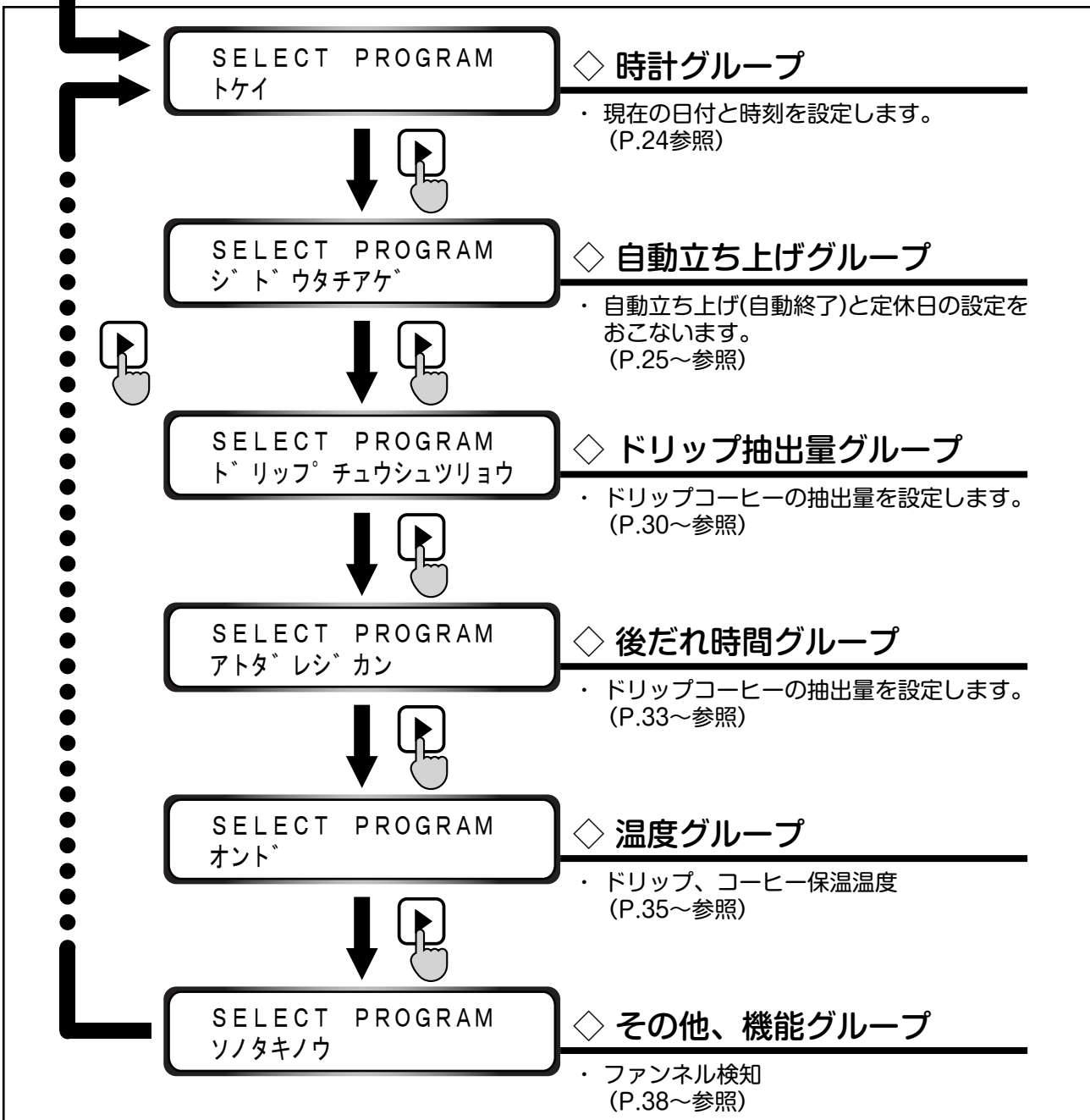
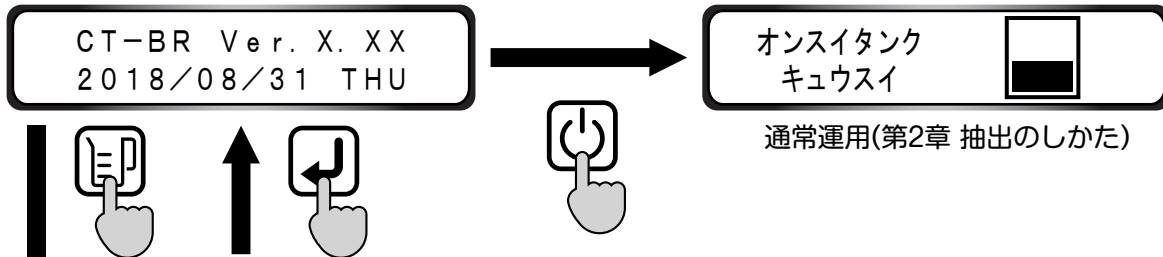


## プログラムのグループ

- プログラムは内容によって6つのプログラムグループに分かれています。各グループの設定内容は以下のとおりです。

主電源スイッチ：ON  
ON/OFFスイッチ：OFF

主電源スイッチ：ON  
ON/OFFスイッチ：ON



# 各プログラムグループの設定のしかた

ここでは、各グループごとの設定内容と設定のしかたについて説明しています。

## 時計グループ

### ■ 日付と時刻の設定

- 現在の日付と時刻を設定します。メインスイッチを1週間以上切ったままにすると日付、曜日、時刻(カレンダー)が工場出荷時の設定に戻ります。

#### 1 「日付と時刻」の設定画面に入ります。

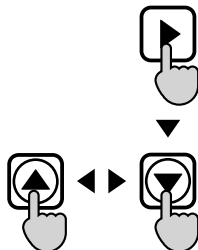
- P.23を参照して「時計グループ」の設定画面に入ります。  
ディスプレイに右のような表示があらわれます。

SELECT PROGRAM  
トケイ

#### 2 日付と時刻を設定します。

- ① “年”を西暦4ケタで設定します。

▶ スイッチを押して、カーソルを移動させながら、▲、▼ スイッチを押して、設定したい数値にします。



2010/02/10 WED  
06:30

- ② “月”の設定をします。▶ スイッチを押してカーソルを移動します。

①と同様にして“月”を変更します。

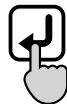


2010/02/10 WED  
06:30

- ③ ①、②の手順を繰り返して、日付、曜日、時間を変更します。

2010/02/10 WED  
06:30

- ④ ◀ スイッチを押すと、「時計グループ」の設定画面にもどります。



SELECT PROGRAM  
トケイ

- ▶ スイッチを押すと、「自動立ち上げグループ」の画面に移動します。



- これで設定を終える場合は、◀ スイッチを押すと、プログラムモードを終了し、「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻ります。

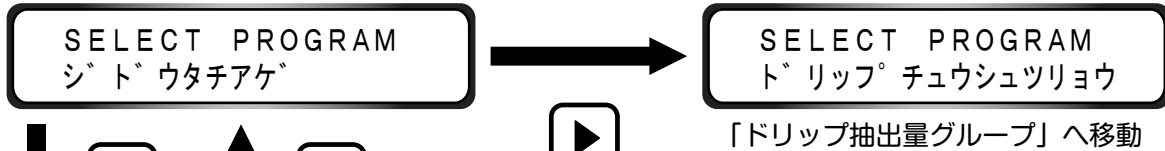
CT-BR Ver. X. XX  
2018/08/31 THU

「自動立ち上げグループ」へ移動

## 各プログラムグループの設定のしかた

## 自動立ち上げグループ

- 自動立ち上げグループには以下の設定項目があります。



Start OFF 00:00  
Stop OFF 00:00

## ■ 自動立ち上げタイマーの設定

- 設定した時刻になると自動的にON/OFFスイッチがON、OFFします。  
(主電源スイッチは常にONにしておく必要があります。)

テイクユビ (Week)  
1: OFF 2: OFF

## ■ 定休日の設定(曜日での設定)

- 週に2回まで、定休日を曜日で設定できます。定休日の設定をすると「自動立ち上げタイマー」は動作しません。定休日を設定しない場合は「OFF」にしておきます。

テイクユビ (Date)  
1: 00 2: 00 3: 00

## ■ 定休日の設定(日付での設定)

- 月に3回まで、定休日を日付で設定できます。定休日の設定をすると「自動立ち上げタイマー」は動作しません。定休日を設定しない場合は「00」にしておきます。

## ■ 自動立ち上げタイマーの設定



- 「自動立ち上げ時刻」(Start)と「自動終了時刻」(Stop)の設定をおこないます。
- 設定した「自動立ち上げ時刻」になると、自動的にON/OFFスイッチがONになり、給水と昇温が始まります。その後、抽出可能状態で待機します。
- 設定した「自動終了時刻」になると自動的にON/OFFスイッチがOFFになります。(主電源スイッチはONのままです。)
- 自動立ち上げタイマーを使用しない場合は「Start」「Stop」をともにOFFに設定します。

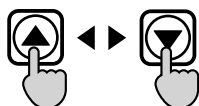
### 1 「自動立ち上げタイマー」の設定画面に入ります。

- P.25を参照して「自動立ち上げタイマー」の設定画面に入ります。  
ディスプレイに右のような表示があらわれます。

Start	OFF	00:00
Stop	OFF	00:00

### 2 自動立ち上げ時刻(Start)を設定します。




- ① 「Start」のON、OFFを設定します。、 スイッチを押すとON、OFFが交互に表示されます。

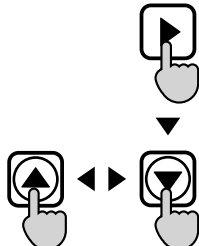


Start	OFF	00:00
Stop	OFF	00:00




Start	ON	00:00
Stop	OFF	00:00

- ② 「自動立ち上げタイマー」機能を使用する場合は、自動立ち上げ時刻を設定します。  
まず、「時」を設定します。  
 スイッチを押して、カーソルを移動させながら、、 スイッチを押して、設定したい数値にします。

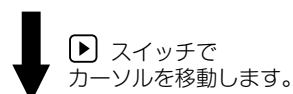



Start	ON	07:00
Stop	OFF	00:00

- ③ “分”を設定します。 スイッチを押して、カーソルを移動させます。  
①と同様にして“分”を変更します。



Start	ON	07:30
Stop	OFF	00:00






- ④  スイッチを押してカーソルを移動させます。

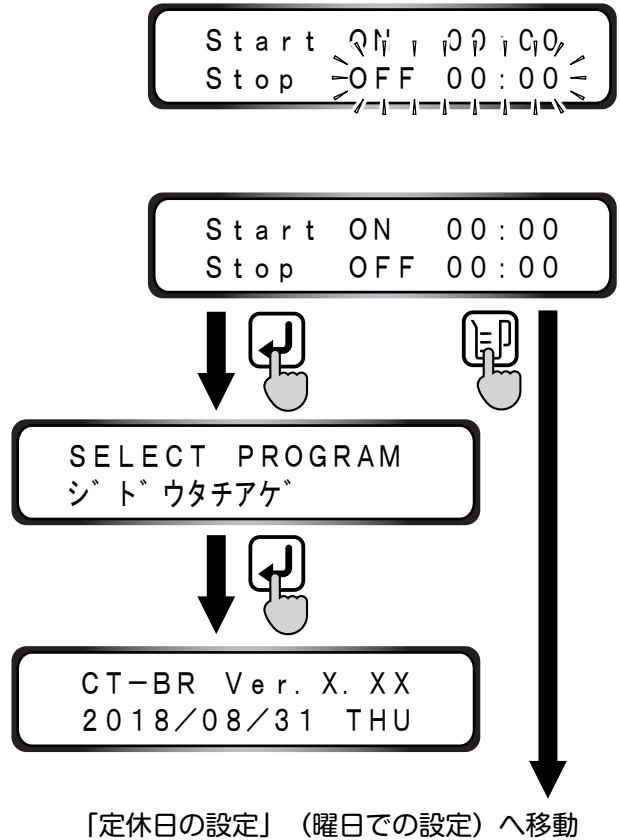


Start	ON	07:30
Stop	OFF	00:00

## 各プログラムグループの設定のしかた

## 3 自動終了時刻(Stop)を設定します。

- ① 「自動立ち上げ時刻」(Start)と同様にし  
て、「自動終了時刻」(Stop)を設定しま  
す。
- ②  スイッチを押すと、「自動立ち上げグ  
ループ」の設定画面にもどります。
-  スイッチを押すと、「定休日の設定」  
(曜日での設定)の設定画面に移動します。
- これで設定を終える場合は、 スイッ  
チを押すと、プログラムモードを終了し、  
「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻  
ります。



## ■ 定休日の設定(曜日での設定)

- 1週間に2回まで、曜日を指定して定休日を設定できます。定休日の設定をした曜日は、「自動立ち上げタイマー」機能が動作しません。
- 定休日の設定をしない場合は「OFF」にしておきます。

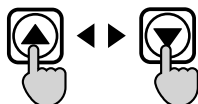
### 1 「定休日の設定」(曜日での設定)の画面に入ります。

- P.25を参照して「定休日の設定」(曜日での設定)の設定画面に入ります。ディスプレイに右のような表示があらわれます。

テイキュウビ<sup>h</sup> (Week)  
1: OFF 2: OFF

### 2 定休日にする曜日を設定します。

- ① 週のうち、1回目の定休日を設定します。▲、▼スイッチを押すと、曜日が表示されます。曜日はアルファベットの略号で表示されます。MON(月)、TUE(火)、WED(水)、THU(木)、FRI(金)、SAT(土)、SUN(日)、OFF(設定しない)



テイキュウビ<sup>h</sup> (Week)  
1: OFF 2: OFF

- ② 2回目の設定をおこなう場合は▶スイッチを押して、カーソルを移動させます。①と同様にして曜日を変更します。



テイキュウビ<sup>h</sup> (Week)  
1: SAT 2: OFF

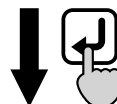
- ③ ◀スイッチを押すと、「自動立ち上げグループ」の画面にもどります。

- ◀スイッチを押すと、「定休日の設定」(日付での設定)の設定画面に移動します。
- これで設定を終える場合は、◀スイッチを押すと、プログラムモードを終了し、「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻ります。

テイキュウビ<sup>h</sup> (Week)  
1: SAT 2: SUN



SELECT PROGRAM  
ジトウチアケ



CT-BR Ver. X. XX  
2018/08/31 THU

「定休日の設定」(日付での設定)へ移動

## 各プログラムグループの設定のしかた

## ■ 定休日の設定(日付での設定)

- 1か月に3回まで、日付を指定して定休日を設定できます。定休日の設定をした日付は「自動立ち上げタイマー」機能が動作しません。
- 定休日の設定をしない場合は「00」にしておきます。

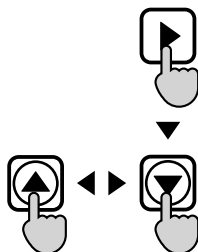
## 1 「定休日の設定」(日付での設定)の画面に入ります。

- P.25を参照して「定休日の設定」(日付での設定)の設定画面に入ります。ディスプレイに右のような表示があらわれます。

テイクユビ (Date)  
1:00 2:00 3:00

## 2 定休日にする日付を設定します。

- ① 月のうち、1回目の定休日を設定します。▶スイッチを押して、カーソルを移動させながら、▲、▼スイッチを押して、設定したい数値にします。



テイクユビ (Date)  
2:00 3:00

- 設定する日付が対象月がない場合は、機能が動作しません。

- ② 2回目以降の定休日を設定する場合は ▶スイッチを押して、カーソルを移動します。①と同様にして日付を変更します。

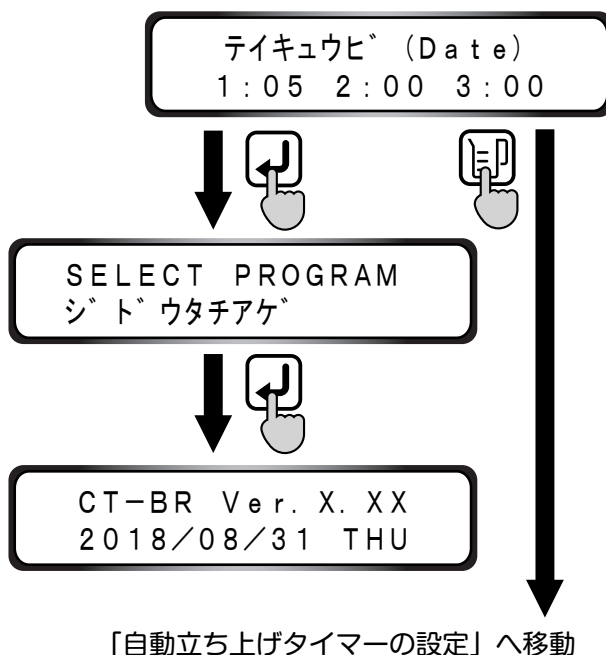


テイクユビ (Date)  
1:05 2:00 3:00

- ③ ◀スイッチを押すと、「自動立ち上げグループ」の画面にもどります。

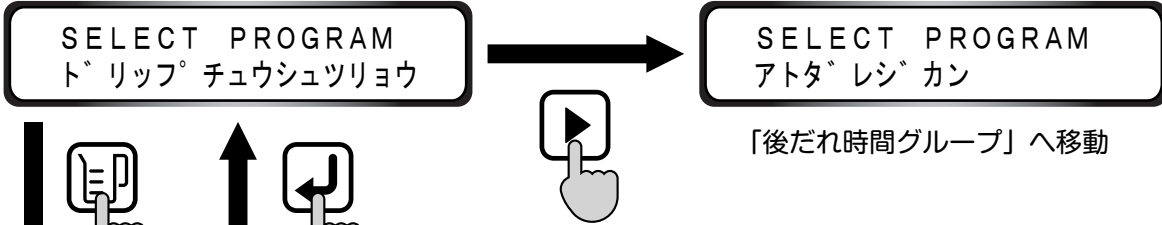
- ◀スイッチを押すと、「自動立ち上げタイマーの設定」の設定画面に移動します。

- これで設定を終える場合は、◀スイッチを押すと、プログラムモードを終了し、「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻ります。



# ドリップ抽出グループ

- ドリップ抽出グループには以下の設定項目があります。



1) 0000/00/0000/  
00/0000/00/0000

- ドリップコーヒー抽出量1の設定
- 抽出スイッチ を押したときに抽出されるドリップコーヒーの量を設定します。

2) 0000/00/0000/  
00/0000/00/0000

- ドリップコーヒー抽出量2の設定
- 抽出スイッチ を押したときに抽出されるドリップコーヒーの量を設定します。

3) 0000/00/0000/  
00/0000/00/0000

- ドリップコーヒー抽出量3の設定
- 抽出スイッチ を押したときに抽出されるドリップコーヒーの量を設定します。

4) 0000/00/0000/  
00/0000/00/0000

- ドリップコーヒー抽出量4の設定
- 抽出スイッチ を押したときに抽出されるドリップコーヒーの量を設定します。

IT アドウォーター リョウ  
1300 CC

- アドウォーター量の設定
- アドウォーター仕様がある場合、設定します。本機「CT-BR / CT-BR(B)」では使用しませんので表示されません。



## 各プログラムグループの設定のしかた

## ■ ドリップコーヒー抽出量の設定

- ドリップコーヒー抽出量の設定のしかたについて説明します。

## 1 「ドリップコーヒー抽出量の設定」の画面に入ります。

- P.30を参照して「ドリップコーヒー抽出量」の設定画面に入ります。  
ディスプレイに右のような表示があらわれます。

1) 0000/00/0000/  
00/0000/00/0000

## 2 設定画面の数値は以下のことをあらわしています。

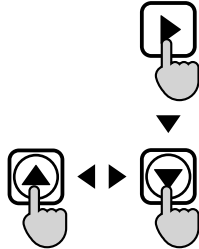
- ドリップコーヒーは、最大4回に分割して給湯することができます。
- 給湯量の単位は「cc」で、1cc刻みで設定できます。“0000”～“2000”まで設定できます。

	1回目の 給湯量	1回目の 休止時間	2回目の 給湯量	
1)	0000	/00	/0000	/
	00	/0000	/00	/0000
	2回目の 休止時間	3回目の 給湯量	3回目の 休止時間	4回目の 給湯量

### 3 ドリップコーヒー抽出量を設定します。

① 1回目の「給湯量」を設定します。

▶ スイッチを押して、カーソルを移動させながら、▲、▼スイッチを押して、設定したい数値にします。



1) 0150/00/0000/  
00/0000/00/0000

② 1回目の「休止時間」を設定します。

▶ スイッチを押して、カーソルを移動します。①と同様に数値を変更します。



1) 0150/20/0000/  
00/0000/00/0000

③ ①、②の手順を繰り返して、2回目以降の「給湯量」「休止時間」を設定します。

- 工程を終える場合は、休止時間を「00」と設定します。

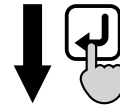
1) 0150/20/0600/  
10/0500/00/0000

3回目の給湯で終了する場合、  
「00」を設定します。

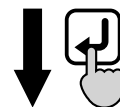
④ ◀スイッチを押すと、「ドリップ抽出グループ」の画面にもどります。

- ◀スイッチを押すと、次の「ドリップコーヒー抽出量」の設定画面に移動します。
- これで設定を終える場合は、◀スイッチを押すと、プログラムモードを終了し、「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻ります。

1) 0150/20/0600/  
10/0500/00/0000



SELECT PROGRAM  
ドリップ チュウシュツリョウ



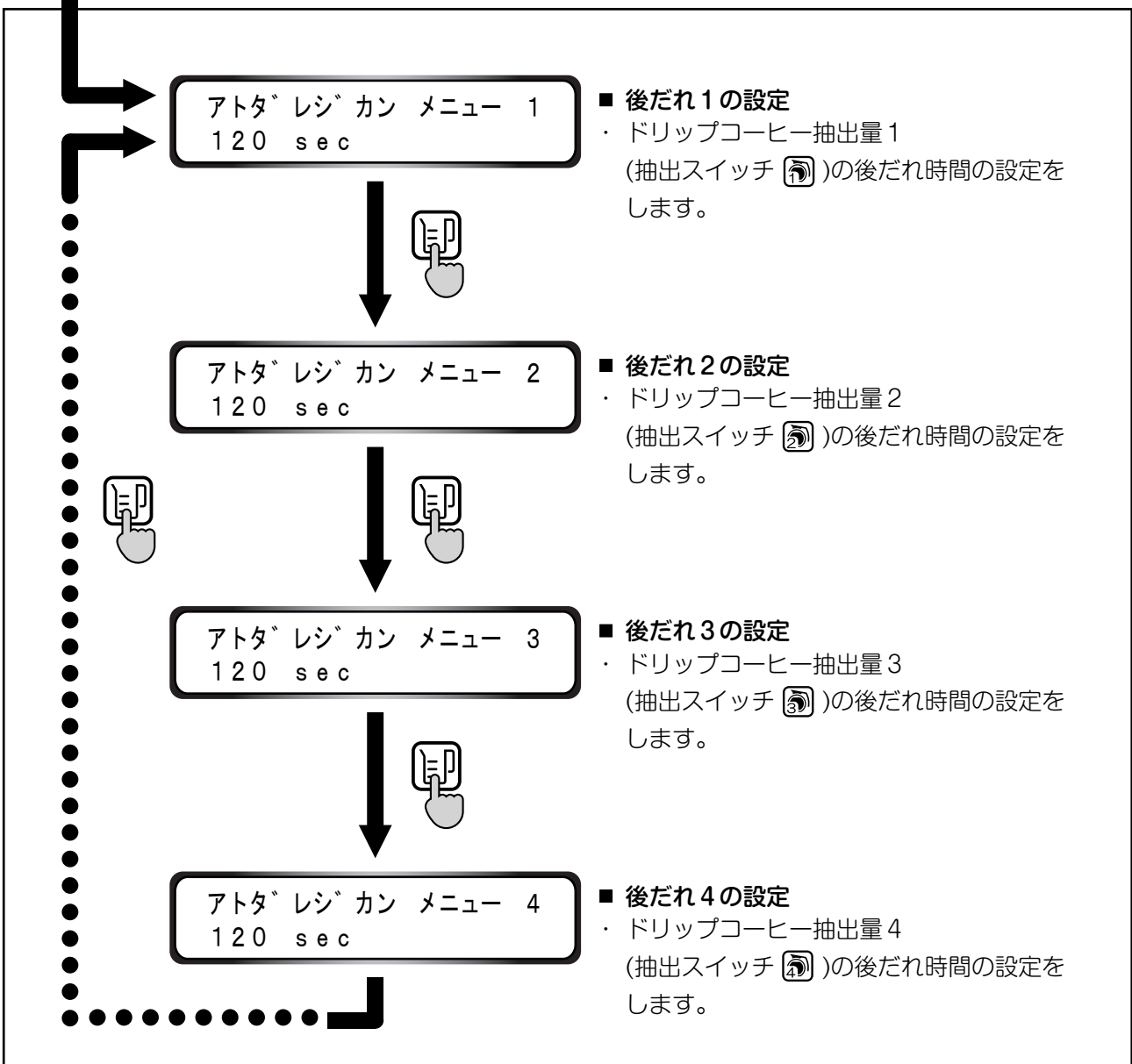
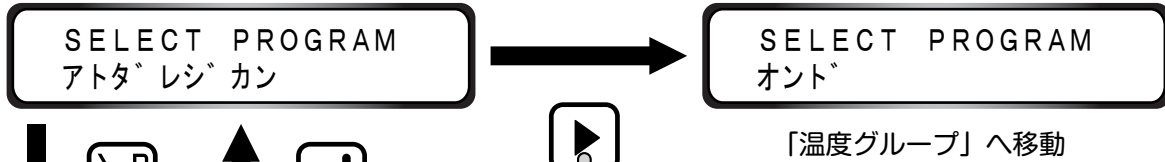
CT-BR Ver. X. XX  
2018/08/31 THU

次の「ドリップコーヒー抽出量の設定」へ移動

## 各プログラムグループの設定のしかた

## 後だれ時間グループ

- 後だれ時間グループには以下の設定項目があります。



## ■ 後だれ時間の設定

- ドリップコーヒーを抽出する際の後だれを設定します。

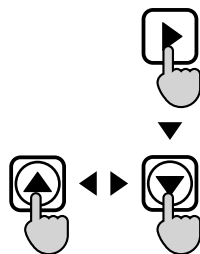
### 1 「後だれ時間」の設定画面に入ります。

- P.33を参照して「後だれ時間」の設定画面に入ります。  
ディスプレイに右のような表示があらわれます。

アトタレジカン メニュー 1  
120 sec

### 2 後だれ時間の設定値変更をおこないます。

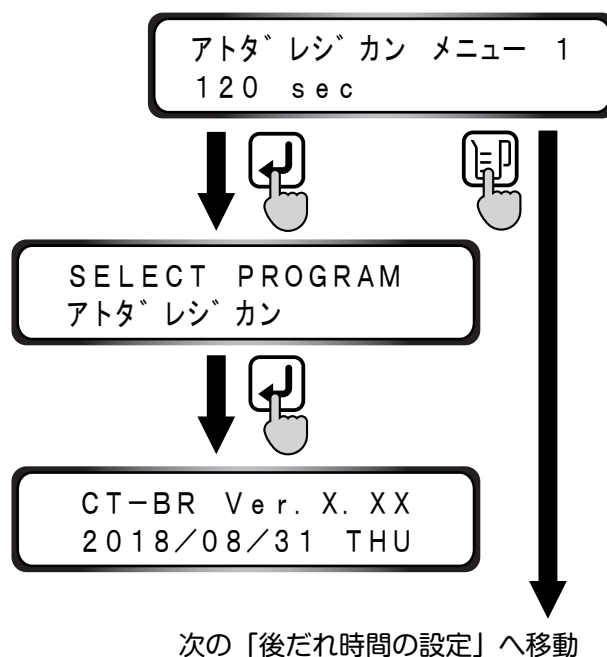
- ① 「後だれ時間」を設定します。  
単位は「秒」です。060～999まで設定できます。▶ スイッチを押して、カーソルを移動させながら、▲、▼ スイッチを押して、設定したい数値にします。



アトタレジカン メニュー 1  
120 sec

- 「後だれ時間」の設定は抽出スイッチ (☑) ～ (☑) に対して適用されます。  
・ 「後だれ1の設定」は、「ドリップコーヒー抽出量1の設定 (抽出スイッチ (☑))」に対して、適用されます。

- ② (☑) スイッチを押すと、「後だれ時間グループ」の画面にもどります。
- (☑) スイッチを押すと、次の「後だれ時間の設定」の設定画面に移動します。
- これで設定を終える場合は、(☑) スイッチを押すと、プログラムモードを終了し、「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻ります。



## 各プログラムグループの設定のしかた

## 温度グループ

- 温度グループには以下の設定項目があります。

SELECT PROGRAM  
オント<sup>®</sup>

SELECT PROGRAM  
ソノタキノウ

「その他、機能グループ」へ移動

DRIPオント<sup>®</sup> 92° C

■ ドリップ温度の設定

- ・ ドリップコーヒーの抽出をするお湯の温度の設定をします。

ホオン リミット 30min

■ 保温タイムリミットの設定

- ・ 上下ウォーマーで保温する際のタイムリミットの設定をします。

## ■ ドリップ温度の設定

- ドリップコーヒーを抽出する際の温度を設定します。

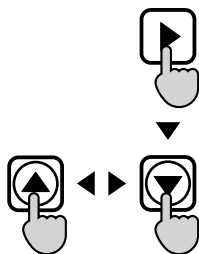
### 1 「ドリップ温度」の設定画面に入ります。

- P.35を参照して「ドリップ温度」の設定画面に入ります。  
ディスプレイに右のような表示があらわれます。

DRIPオント<sup>®</sup> 92° C

### 2 ドリップ温度の設定値変更をおこないます。

- ① 「ドリップ温度」を設定します。  
単位は「°C」です。00~95°Cまで設定できます。▶スイッチを押して、カーソルを移動させながら、▲、▼スイッチを押して、設定したい数値にします。

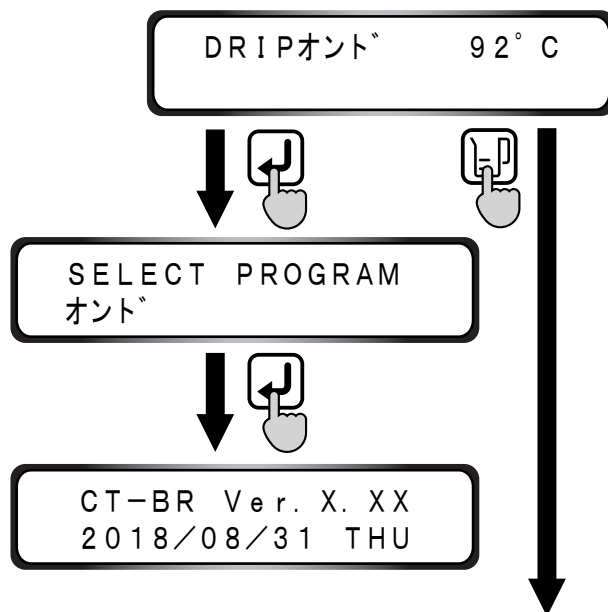


DRIPオント<sup>®</sup> 92° C

- 設定した数値から「-1°C」で抽出可能となります。92°Cで設定した場合、91°Cで抽出可能となります。

DRIPオント<sup>®</sup> 92° C

- ② ◀スイッチを押すと、「温度グループ」の画面にもどります。
- ◀スイッチを押すと、「保温タイムリミット」の設定画面に移動します。
- これで設定を終える場合は、◀スイッチを押すと、プログラムモードを終了し、「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻ります。



「保温タイムリミットの設定」へ移動

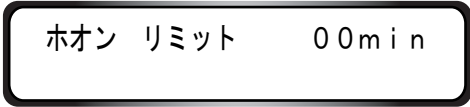
## 各プログラムグループの設定のしかた

## ■ 保温タイムリミットの設定

- 上下ウォーマーで保温する際にタイムリミットを設定します。
- 上下ウォーマーの保温タイムリミットの時間になると、スイッチの点滅とブザーでお知らせします。お知らせから30分間放置されずとウォーマーは自動でOFFの状態となります。
- 下部ウォーマーはドリップコーヒーの抽出が始まると保温タイムリミットのカウントが始まります。
- 下部ウォーマーの保温タイムリミットによるスイッチの点滅及びブザー音は、次のコーヒーを抽出するか、再度スイッチを押すことでリセットされます。
- 上部ウォーマーの保温タイムリミットによるスイッチの点滅及びブザー音は、再度スイッチを押すことでリセットされます。

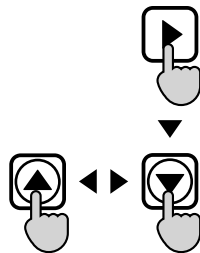
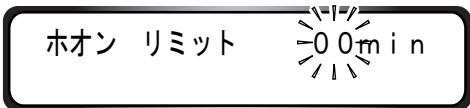
## 1 「保温タイムリミット」の設定画面に入ります。

- P.35を参照して「保温タイムリミット」の設定画面に入ります。ディスプレイに右のような表示があらわれます。



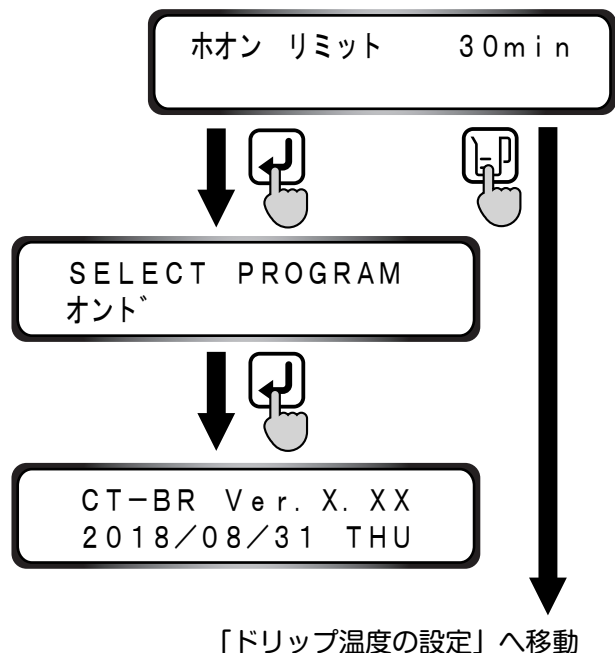
## 2 保温タイムリミットを設定します。

- ① 「保温タイムリミット」を設定します。単位は「分」です。00～99まで設定できます。▶ スイッチを押して、カーソルを移動させながら、▲、▼ スイッチを押して、設定したい数値にします。

- 「00」に設定した場合、保温タイムリミット機能は、OFFの状態となります。

- ② ◀ スイッチを押すと、「温度グループ」の画面にもどります。
- ◀ スイッチを押すと、「ドリップ温度」の設定画面に移動します。
- これで設定を終える場合は、◀ スイッチを押すと、プログラムモードを終了し、「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻ります。



## その他、機能グループ

### ■ ファンネル検知の設定

- 抽出時のファンネル検知機能を設定します。

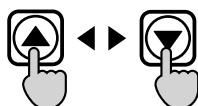
#### 1 「その他、機能グループ」の設定画面に入ります。

- P.23を参照して「その他、機能グループ」の設定画面に入ります。  
ディスプレイに右のような表示があらわれます。

SELECT PROGRAM  
ソノタキノウ

#### 2 ファンネルの検知を設定します。

- ① ファンネルの検知を設定します。  
▲、▼スイッチを押して、ファンネルの検知を設定します。



ファンネル ケンチ  
1:アリ 0:ナシ



- 「1:アリ」と設定した場合、抽出時にファンネルをセットしなければ、抽出は出来ません。

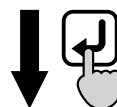
- ② ◀スイッチを押すと、「その他、機能グループ」の設定画面にもどります。

- ▶スイッチを押すと、「時計グループ」の画面に移動します。

- これで設定を終える場合は、◀スイッチを押すと、プログラムモードを終了し、「ON/OFFスイッチ」がOFFの状態に戻ります。



SELECT PROGRAM  
ソノタキノウ



CT-BR Ver. X. XX  
2018/08/31 THU

「時計グループ」へ移動



## 各プログラムグループの設定のしかた

**MEMO**

⑤ プログラムの設定について



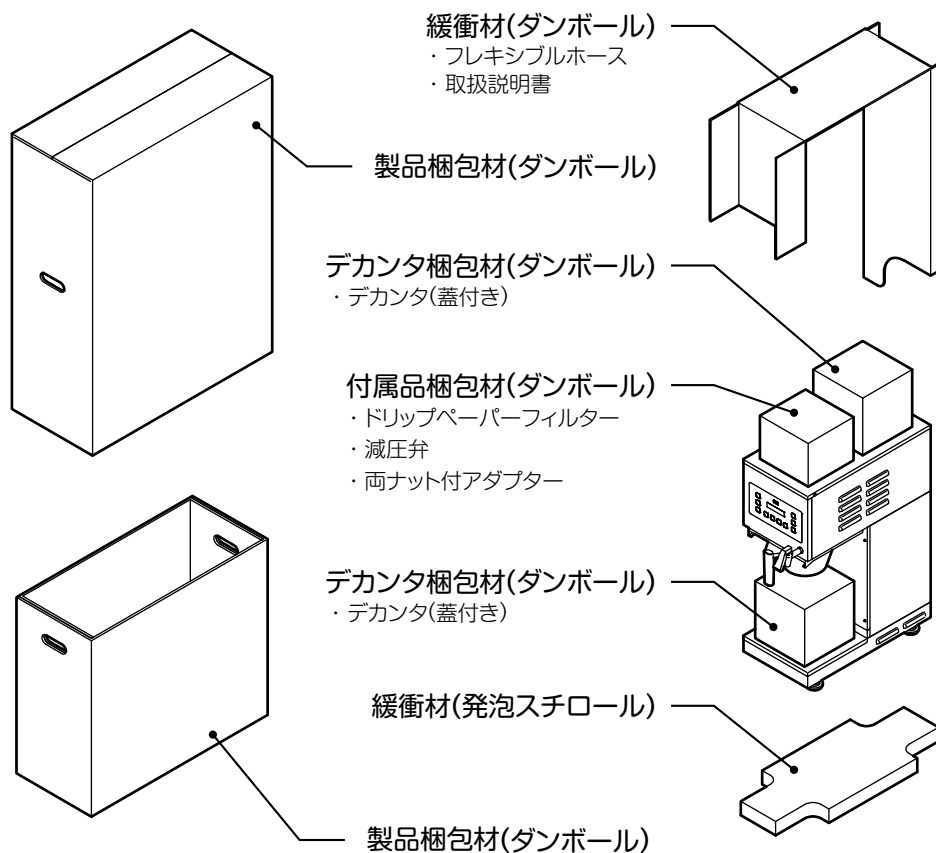
# 6

## 据付けについて

### 据付工事

#### 開梱、付属部品

- 開梱後、付属部品がそろっているか確認してください。
- 付属部品および、別売品はP.48に記載しています。



#### 据付前の準備

- 本機を据付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

#### 水道

- 水道栓は、ステンレスフレキシブルホースが取り付けられるように、コックの先に「G 1/2 オスネジ」付きのものを用意してください。
- 機械周辺は、左右の壁面から100mm以上、背面から100mm離してしてください。  
特に機械の両面側は、電子制御部品がありますので、必ず空けておいてください。  
据付台の上方には、高さ1000mm以上のスペースを確保してください。

## 据付台

- 本機を据付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にておこなっていただく必要があります。目安として、機械本体と同等のスペース(面積)を確保してください。
- 機械周辺は、左右の壁面から100mm以上、背面から100mm離してください。特に機械の両面側は、電子制御部品がありますので、必ず空けておいてください。据付台の上方には、高さ1000mm以上のスペースを確保してください。
- 据付ける場所として、次のことに注意してください。
  - 1) 直射日光の当たるところや、機械の周囲が高温の場所には据付けしないでください。高温になると、電気部品の故障の原因となります。  
使用環境  
温度：+5℃ ～ +32℃  
湿度：20 ～ 80%RH、結露なし
  - 2) 風通しの良い所に据付けてください。風通しが悪いと蒸気がこもり、機械の寿命を短くしたり、漏電の原因となります。
  - 3) 凍結の恐れのない場所に据付けてください。凍結により給水管が破裂した場合、周囲を濡らしたり、漏電、ショート、感電の原因になります。据付けされる場合は、お買上げ店にご相談ください。
  - 4) 水をこぼしてもよい所へ据付けてください。使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に散ることがありますので、濡れると不都合な所では、防水処理をしてください。
  - 5) 丈夫で凸凹のない、平らな台へ据付けてください。機器が不安定になり、転倒などの原因となります。
  - 6) 水準器等を使用して、機器を水平に据付けてください。抽出量やシャワープレートからの湯の出方が不安定になることがあります。(アジャスト脚で水平に保つことができます。)
  - 7) 振動のない所へ据付けてください。抽出量が不安定になったり、故障の原因になります。

## 電 源

- 機械本体設備容量  
 単相 200V 50/60Hz 18.5A (ブレーカー容量 20A)  
 三相 200V 50/60Hz 18.5A (ブレーカー容量 20A)  
 ※三相 200Vに関しては、本機「CT-BR / CT-BR(B)」では使用できません。
- 本機の電源は、必ず専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に接続してください。特に機械の両面側は、電子制御部品がありますので、必ず空けておいてください。据付台の上方には、高さ1000mm以上のスペースを確保してください。
- アース端子は、必ず設けてください。アースは、D種接地工事が必要です。電気工事店に工事を依頼してください。
- 電源に近いところ(できれば1m以内)へ据付けてください。電源コードは約1.7mです。(3心 外径10mm)
- 本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、適切な長さにカットして接続してください。

# 据付

## 据付・接続

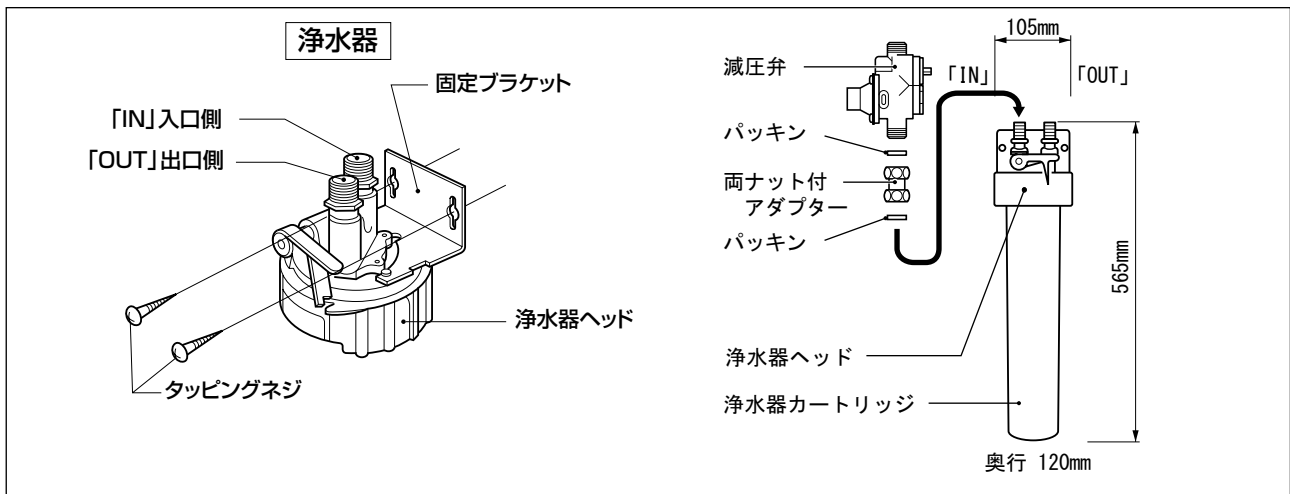
全体レイアウトが決まったら、以下の要領で据付・接続をしてください。

### ● 浄水器〈別売品〉

浄水器を取り付けないとコーヒーの味に影響を与えます。また、水道水内のゴミ等により機械故障の原因となることがありますので、浄水器は必ず付けてください。

#### 1) 浄水器ヘッドの取り付け方

- ① 浄水器ヘッドの固定ブラケットを、据付台下の壁面にタッピングネジか釘で取り付けてください。
- ② 浄水器「IN」側に減圧弁の「OUT」側を取り付けてください。



#### 2) カートリッジを浄水器ヘッドに取り付けてください。

浄水器カートリッジの取り付け方(取り外し方)は、カートリッジに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

#### 3) 浄水器内部の洗浄方法

浄水器は、機械に取り付ける前に約3分間水を流して内部を洗浄してください。そのまま使用されますと、ゴミ等により、機械故障の原因となります。

- ① 水道栓と、減圧弁「IN」側をステンスフレキシブルホース(1.5m)で接続してください。
- ② 浄水器「OUT」側をステンスフレキシブルホース(1.0m)に接続し、ホースのもう一方の端を排水口または、排水溝に差し込んでください。
- ③ 水道栓を開いて、約3分間水を出し、内部のゴミやホコリなどを流してください。

### ● 給水の配管

内部の洗浄が終わった浄水器「OUT」側に接続されたステンスフレキシブルホース(1.0m)と機械内の給水タップはパッキンをはさんで接続してください。

## 据付け後の動作確認

- ① 水道の元栓を開いてください。
- ② 本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を入れてください。
- ③ 機械にある主電源スイッチを「ON(入)」にしてください。
- ④ 操作パネルの「ON/OFFスイッチ」を押してください。
- ⑤ 自動的に温水タンクに給水が始まります。
- ⑥ 一定の給水が行われると昇温が始まります。  
給水および、昇温完了時間…約11分
- ⑦ 温水タンクの昇温が完了すると「抽出ボタン」が橙色に点灯します。
- ⑧ 「ドリップ抽出スイッチ」を押して、ドリップシャワプレートから湯が出るか確認してください。シャワープレートからの湯の出方を確認するは、ファンネルの検知機能を「0：ナシ」にして確認してください。その時、ファンネルおよび、デカンタなどの容器を用意してください。
- ⑨ 「熱湯栓」押し上げて、熱湯がでるか確認してください。その時、熱湯栓の下に容器を用意してください。

これで据付け完了です。

**MEMO**



## 抽出設定のヒント

- 1.挽豆全体に十分ゆきわたる量のお湯をかける。(1回目の給湯)
- 2.20～40秒の間放置する。(1回目の休止=むらし)
- 3.とりたいコーヒー量相当のお湯をかける。(2回目以降の給湯=本抽出)

### ● 1回目の湯量

使用する挽豆(g)の2倍の湯量(cc)を目安とします。

使用するコーヒー豆の種類、焙煎度合い、挽き具合(メッシュ)などによって豆が吸う湯量は異なります。また、ペーパーフィルターも湯を吸収するので、実際に抽出をしてみて給湯量を決定してください。ファンネルの下からいくらかコーヒーが落ちてくる状態で、ファンネル内の挽豆全体が十分濡れているのが理想です。

### ● むらし時間

少量抽出の場合は、抽出時間が短めになりますので、むらし時間を長めにとった方が良いでしょう。逆に、大量抽出では、抽出時間が長くなりますので、抽出過多とならないよう短めにします。

### ● 本抽出

少量抽出では抽出時間が短い分、薄いコーヒーとなりやすいので、これを2分割ないし3分割して間に休止時間をとります。ハンドドリップで2回、3回の分割給湯するのと似た状況を作り出して、抽出過少をカバーすることができます。1.5L前後の抽出量より少ない場合には、本抽出を3分割して、間に10～20秒の休止時間を入れると良いでしょう。

## 推奨レシピ

- 抽出スイッチ1(推奨レシピ初期設定値)  
抽出量1650cc コーヒー粉100～120g

1) 0150/30/1650/  
00/0000/00/0000

- 抽出スイッチ2(推奨レシピ初期設定値)  
抽出量1400cc コーヒー粉85～100g

2) 0100/25/1400/  
00/0000/00/0000

- 抽出スイッチ3(推奨レシピ初期設定値)  
抽出量720cc コーヒー粉60～80g

3) 0080/20/0720/  
00/0000/00/0000

- 抽出スイッチ4(工場出荷設定値)

4) 0500/00/0000/  
00/0000/00/0000

- 抽出スイッチ (お客様オリジナル)  
抽出量 cc コーヒー粉 g

) / / / /  
/ / / /

- 抽出スイッチ (お客様オリジナル)  
抽出量 cc コーヒー粉 g

) / / / /  
/ / / /

- 抽出スイッチ (お客様オリジナル)  
抽出量 cc コーヒー粉 g

) / / / /  
/ / / /

- 抽出スイッチ (お客様オリジナル)  
抽出量 cc コーヒー粉 g

) / / / /  
/ / / /

# 故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。  
 症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください」と記載されている場合は、本機専用電源を「OFF(切)」にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。  
 ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状態	確認	手当
ON/OFFスイッチを押しても電源がはいらない。	本体の主電源スイッチが「OFF(切)」になっていませんか？	「OFF(切)」になっているときは、「ON(入)」にしてください。
	サーキットブレーカーがはたらいているか確認してください。	リセットボタンを押してください。
	本機専用電源が「OFF(切)」になっていませんか？	「OFF(切)」になっているときは、「ON(入)」にしてください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
抽出スイッチを押してもコーヒーが抽出されない。	画面に「ショウオンチュウ」の表示がでていませんか？	温水タンクが昇温し、画面に「チュウシュツ カノウデス」の表示がでるのを待ってください。
保温プレートの温度が上がらない。	ウォーマースイッチは赤色に点灯していますか？	ランプが青色に点灯している場合は、ウォーマースイッチを押してください。
		ランプが赤色に点灯しているのにウォーマーの温度が上がらない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
本機の下から水が漏れている。	-	水道栓を閉じ、本機専用電源を「OFF(切)」にしてから、お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合は、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードが異常に熱くなる。	-	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しななかったりする。	-	お買上げ店へ連絡してください。
ウォーマースイッチが点滅している。	設定した保温タイムリミットを過ぎていませんか？	再度保温する場合は、ウォーマースイッチを押してください。
画面の時刻表示が点滅している。	-	お買上げ店へ連絡してください。
ディスプレイに下記内容が表示された場合。 <b>キュースイ ブ ソクテ` ス ケイロ カクニンシテクダサイ</b>	水道栓は、開いていますか？	水道栓を閉じている場合は、開けてください。
	浄水器の栓は、開いていますか？	浄水器の栓を閉じている場合は、開けてください。
	水道圧力は、流れている状態で、0.1MPa以上ありますか？	お買上げ店へ連絡してください。
	本機が凍結していませんか？	本体の主電源スイッチを「OFF(切)」にして、室内温度の上昇によって、自然解凍するまでお待ちください。 本体及び、給水管にお湯をかけ、解凍すると配管やバルブの破損の原因となりますので行わないでください。
ディスプレイに下記内容が表示された場合。 <b>シ ョウスイキ コウカンジ キ</b>	浄水器のカートリッジは、定期的に交換されていますか？	



# エラーメッセージについて

ディスプレイに以下の内容が表示された場合は、本機専用電源を「OFF(切)」にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

オンスイセンサ H  
タ`ンセン

ホオンセンサ 1  
タ`ンセン

カテ`ンリュウ ケンチ  
キュウスイ

オンスイセンサ H  
ショート

ホオンセンサ 1  
ショート

カテ`ンリュウ ケンチ  
チュウシュツ

オンスイセンサ L  
タ`ンセン

ホオンセンサ 2  
タ`ンセン

カテ`ンリュウ ケンチ  
ファンネルロック

オンスイセンサ L  
ショート

ホオンセンサ 2  
ショート

E00

本機「CT-BR / CT-BR(B)」には、ディスプレイに以下の表示はされません。  
(ウォーマー3ヶ所、アドウォーター仕様の場合のみ、エラーメッセージとして表示されます。)

ホオンセンサ 3  
タ`ンセン

ホオンセンサ 3  
ショート

カテ`ンリュウ ケンチ  
アド`ウォーター

# 仕 様

品 名	コーヒーマシン「カフェトロンブルーワール」
型 式	CT-BR / CT-BR(B)
外形寸法(mm)	幅250 x 奥行470 x 高さ620(突起含まず)
質 量(kg)	17
電 源	単相 200V 50/60Hz
動作環境	屋内 過電圧カテゴリⅡ
電 流	18.5A
消費電力	3.7kW
昇温時間	8分(20℃から92℃の場合)
ドリップ抽出温度	92℃(工場出荷設定)
ドリップ抽出能力	20L/h
温水タンク容量	5.7L
ウォーマー	2個所
その他の機能	自動立ち上げ/停止タイマー(定休日設定付) ウォーマータイムリミットブザー(ウォーマー自動OFF) ドリップコーヒー定量取り出し機構 ファンネルロック機構、ファンネル検知機構
使用環境	温度：+5℃ ~ +32℃ 湿度：20 ~ 80%RH、結露なし
給水設備	給水栓：G1/2 オスネジ
水道圧力	0.1~0.74MPa
電源コード	1.7m 3心

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

## 付属品

はじめに、下記の付属品がそろっているかチェックしてください。

No.	品 名	数量	No.	品 名	数量
1	ドリップペーパーフィルター(270mm)	50枚	3	デカンタ 蓋付き	2個
2	ファンネル 2L	1個	4	取扱説明書(本書)	1冊

## 配管用付属品

はじめに、下記の配下用付属品がそろっているかチェックしてください。

No.	品 名	数量	No.	品 名	数量
1	ステンレスフレキシブルホース(1.0m)	1個	3	両ナット付アダプター	1個
2	減圧弁	1個			

## 別売品

No.	品 名	数量	No.	品 名	数量
1	浄水器	1個	3	ステンレスフレキシブルホース(1.5m)	1個
2	浄水器カートリッジ	1個			

## 保証書（別添付）について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

## 消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

リング	パッキン	チューブ
ペーパーフィルター	デカンタ	—

## 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

# 株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛 岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202010 PD'